

事務事業名	八田ふれあい図書館子どもの読書活動推進事業		所属部局	教育委員会	単位番号	12435					
	□ 実施計画事業		所属課室	市立図書館	課長名	滝沢 美保					
			所属担当	八田ふれあい図書館	担当者名	保坂なおみ					
基本政策	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目	
政策	22	生涯学習ネットワークの整備充実	事業区分	01	一般	10	04	04	020	08	
施策	35	生涯学習システムの推進		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金							
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 15 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)			法令根拠	図書館法・子どもの読書活動に関する法律・南アルプス市立図書館条例						
事業の内容	期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (25年度 決算見込)							
事務事業の概要	子どもの発達段階に応じた読書支援		項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)					
	おはなし会・おはなし会0.1.2の開催		消耗品費	25							
	工作教室・科学実験あそび等の開催		食料費	5							
	読書まつり・読書フェスタ・クリスマス会・映画会・出前サービスの開催										
	子どもボランティア・図書館見学・職場体験の実施										
					計	30					

## 1 現状把握(DO)

### (1) 事務事業の目的と目標

① 活動	おはなし会の開催・各種行事の開催・図書館見学、職場体験の受入れ等	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない								
25年度活動実績	おはなし会の開催・各種行事の開催・図書館見学、職場体験の受入れ等		<table border="1"> <tr><td>名称</td><td>単位</td></tr> <tr><td>ア おはなし会の開催回数</td><td>回数</td></tr> <tr><td>イ 各種行事の開催回数</td><td>回数</td></tr> <tr><td>ウ 図書館見学・職場体験実施回数</td><td>回数</td></tr> </table>	名称	単位	ア おはなし会の開催回数	回数	イ 各種行事の開催回数	回数	ウ 図書館見学・職場体験実施回数	回数
名称	単位										
ア おはなし会の開催回数	回数										
イ 各種行事の開催回数	回数										
ウ 図書館見学・職場体験実施回数	回数										
26年度活動予定	おはなし会の開催・各種行事の開催・図書館見学、職場体験の受入れ等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない								
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	子どもとその保護者	⇒	<table border="1"> <tr><td>名称</td><td>単位</td></tr> <tr><td>ア おはなし会の参加人数</td><td>人数</td></tr> <tr><td>イ 各種行事の参加人数</td><td>人数</td></tr> <tr><td>ウ 図書館見学・職場体験参加人数</td><td>人数</td></tr> </table>	名称	単位	ア おはなし会の参加人数	人数	イ 各種行事の参加人数	人数	ウ 図書館見学・職場体験参加人数	人数
名称	単位										
ア おはなし会の参加人数	人数										
イ 各種行事の参加人数	人数										
ウ 図書館見学・職場体験参加人数	人数										
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	本の楽しさを知り、本や図書館に親しむようになる。	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない								
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	児童書の貸出冊数が増える。	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない								
			<table border="1"> <tr><td>名称</td><td>単位</td></tr> <tr><td>ア 児童書貸出冊数</td><td>冊数</td></tr> </table>	名称	単位	ア 児童書貸出冊数	冊数				
名称	単位										
ア 児童書貸出冊数	冊数										

### (2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	
事業費	内訳	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	28	29	30	31	31	31	
		事業費計(A)	千円	28	29	30	31	31	31	0
人件費	内訳	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	189	189	189	189	189	189	
		人件費計(B)	千円	860	860	860	860	860	860	0
		(A)+(B)	千円	888	889	890	891	891	891	0
活動指標	内訳	ア 回数		26.0	26.0	26.0	26.0	26.0	26.0	
		イ 回数		23.0	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0	
		ウ 回数		5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	
対象指標	内訳	ア 人数		759.0	684.0	704.0	725.0	747.0	769.0	
		イ 人数		1,085.0	1,014.0	1,044.0	1,075.0	1,108.0	1,141.0	
		ウ 人数		83.0	92.0	94.0	97.0	100.0	103.0	
成果指標	内訳	ア 点数		12,215.0	12,004.0	12,364.0	12,735.0	13,117.0	13,510.0	
		イ 人数		3,028.0	2,918.0	3,005.0	3,095.0	3,187.0	3,283.0	
		ウ								
上位成果指標	内訳	ア 冊数		31,988.0	31,134.0	32,068.0	33,030.0	34,020.0	35,041.0	

### (3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成13年の開館の年から、「おはなし会」を始め、絵本の読み聞かせなどを行うことにより、子どもと本を結び付け、本を読む楽しさを知ってもらうために開始した。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	定例のおはなし会にも地区以外から多くの子どもと保護者が参加してくれるようになった。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	毎月行っている「おはなし会と工作教室」の工作は各季節にちなんだものを企画するので参加者に好評である。

### (4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	図書館で開催する行事のほかに、保育所や幼稚園の来館時のおはなし会の開催、保育所出前サービスの実施など、子どもに本の楽しさを知ってもらい、図書館を利用してもらえるように働き掛けている。H23年度から児童館と連携し、合同の春の読書まつりや児童館でのおはなし会も開催している。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	定例で行なっている工作教室のほかに、夏の科学工作教室や冬の親子工作教室では、魅力ある内容になるよう工夫し、定員以上の参加が得られた。

事務事業名	八田ふれあい図書館子どもの読書活動推進事業	所属部	教育委員会	所属課	市立図書館
-------	-----------------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 親子のふれあいや、子どもの読書の習慣と、子どもの成長とともに継続して図書館を利用してもらえる。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 市の子どもの読書活動推進計画に基づいた公共図書館の達成すべき目的である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 さまざまな事業を行なうことにより、子ども達が本や図書館に親しむようになるので、維持・継続していくことは必要である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 より多くの子ども達に図書館を知ってもらい、利用してもらうためには、子ども達が参加してみたいくなるような催しの企画や、参加対象者へのPRを強化していく。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 子どもたちが行事に参加しやすいように身近な図書館での開催が望ましい。 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 子どもの読書離れが益々進んでしまう。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 子どもへの読書習慣の働きかけができない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 図書館のたくさんの行事を行なっていくのに、必要最小限の事業費である。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 通常の図書館業務を行いながら図書館行事を開催しているので、これ以上の人件費の削減はできない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 対象者はだれでも参加できるように広報、チラシなどで周知徹底をして行く。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	・八田は工作を多く実施し、参加者も多く今後も継続する事が望ましい。 ・今後も参加者が来なくなる企画で、事業の実施を行なっていく。 ・児童館との連携や八田保育所との連携を深める事が望ましい。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 多くの子どもと保護者に図書館の各種行事を知ってもらえるように周知方法を工夫する。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 学校・保育所・児童館などと連携を図りながら、掲示や家庭へのチラシ配布をお願いし周知の強化をしていく。関係機関への出前おはなし会等も拡大していく。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
	成果優先度評価結果 ② コスト削減優先度評価結果 ⑪																					